

様式B

令和4年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立山口幼稚園

教育目標

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況
「なんだろう?」「まだまだやりたい!」「あしたもやろうよ!」が	多様な一人一人の経験を通して、主体的に活動する在り方について	遊び込める環境作り	子供の興味の在りどころを探りながら、主体的に遊べる空間や動線の確保、素材・道具などの環境を見直した。
		自然遊びなどの直接体験の充実	身近な自然に興味をもって触れられるような環境を整えた。また、手に取りやすいところに虫眼鏡や自分で読めるような手作りの図鑑を用意することで、子供の関心の広がりが見られた。
		自立心を育む	挑戦しようとする姿や、少し頑張れば自分で出来そうなことを励ましなが見守り、自分でやり遂げる達成感を味わえるよう援助した。
	情緒豊かに子供に関わる	心を育てる	一人一人が大切であることを伝え、自尊感情を育てる中で、自分に自信がもてるよう、また、相手を思いやる優しさを育てていけるように心掛けてきた。
		異年齢・地域・小学校等との交流	コロナ禍で制限がある中、隣接する小学校と行事を共にしたり、遊びの中に仲間入りさせてもらうなどして、小学校への意識の高まりが見られた。
	たくましく元気に活動する子供	健康な心と体	幼稚園に登園することを心から楽しめるように、一人一人の心を大切に受け止め、のびのびと主体的に生活できるような幼稚園を目指した。
	健康で安全な生活	子供が安心して園生活を送ることができるよう、園・家庭・地域とワンチームで子供を育てていけるように見守った。	

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

全体的に、園教育に対して肯定的・高評価であった。園の教育に理解を戴き、前向きに捉え、幼稚園とともに歩み、ご支援くださる保護者が多い。また、子供についても、幼稚園に通うことをとても楽しみにしている様子がアンケートから読み取れる。今年から複式学級になったことで年度初めは不安だったことも、その利点を感じ、少人数での輪や温かさを感じ、好意的に捉えてくださった結果を得ることができた。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

コロナウイルス感染症対策をした上で、いろいろな活動を取り入れ、『子供に経験してほしい内容』を大切に捉え、保育を行ってきた。保護者向けに、掲示や園・クラス便り、ホームページなどで、保育の中で重点にしていることや、子供の姿から読み取れる成長の部分などを分かりやすく伝えることに努めてきた。また、3月より、玄関に設置したモニターを活用し、具体的な子供の姿をもとに、どういう力がついてきているか、心の成長が見られるか、など園教育をドキュメンテーションとして伝えていけるよう、情報発信していけるよう取り組んでいる。今後も職員間で、保育観の共通理解を図り、子供にとってよりよい環境や援助の在り方を探っていきたい。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

感染症対策を講じながら、子供たち同士の繋がりを大切にし、園教育の中でしっかり心を育てていくことを重点に取り組んだ。今年度は防水工事・外壁工事の為、半年ほど館内・館外を自由に行き来しづらい環境となったが、子供たちが安心して過ごせるように、遊びが途切れないように職員間で連携し工夫してきた。次年度は、さらに子供たちの活動を充実させ、さまざまな人・もの・ことに触れ、いろいろな感動体験をしていけるように取り組みたい。